

# 1 瓶を使った拡散型簡易霧箱の作成

(土田 理)

- (1) 拡散型霧箱を作るためには、空気の漏れのない容器が必要であり、金属のネジ蓋の付いたジャムの瓶などが適切である。ゴムのパッキングで、空気を漏らさないようにすることもよい。
- (2) フタの内側には、ゴム系接着剤で黒のフェルトを貼り付ける。瓶の底にもフェルトを貼る。底のフェルトには中心に穴を空けて、瓶の底を観察できるようにする。次に、瓶の内側に黒い色の吸い取り紙を、瓶の高さと同じにして入れる。この紙は蓋を閉めた時に光を取り入れる隙間が出来る程度にする。接着剤が乾燥してから、アルコールをフェルトと吸い取り紙に十分に吸い込ませ、瓶の中にアルコールを残す程度入れる。
- (3) しっかりと蓋をし、逆さまにしてドライアイスの上に乗せ、吸い取り紙の隙間から光を入れる。底の穴から中を観察すると各種の宇宙線が観察できる。

